

各企業等の社会貢献

宮坂建設工業がボランティア
交通事故撲滅願い作業
地蔵尊周辺を丁寧に除排雪



から除排雪作業を行っていた。

凍てつく寒さのもと、午

作業開始前には、長谷川常務が「機械でできない部分を人力で行う。タイヤシヨベルや車などに気を付けて、安全第一で作業を進めてほしい」と社員らの士気を高め

前七時前から作業開始。八日から九日にかけての低気圧の影響で、十勝管内ではかなりの積雪があり、社員ら十三人が地蔵尊周辺の雪をシヤベルで丁寧に取り除いた。

木幡彰夫土木部長は「付近を通行するドライバーや近隣住民の交通安全意識を高めてもらえれば」と期待を寄せていた。最後に作業に当たった全員で、今後ドライバーの安全を守ってくれるように祈願した。

現地は、道路除雪でできなかった雪山により歩行者や対向車が見えにくくなっている。同社は、帯広広尾自動車道関連の工事で地蔵尊周辺に現場があったことをきっかけに、2004年から毎年除排雪に取り組んでいる。



創業者である宮坂寿美雄氏の「世のため人のためにつくせ」という遺訓を胸に、13人が熱心に作業に励んだ。

交差点除雪で見通し改善

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は11日、地域貢献として帯広市大正町にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺を除雪し、交差点の見通しを改善した。写真。道道帯広空港線沿いの

【帯広発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は11日、地域貢献の一環として、道道帯広空港線沿いの「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺の除排雪を行った。長谷川雅毅常務ら十三人が参加。交通安全を祈願する地蔵尊がドライバーから見えるように雪かきを行い、交通事故の撲滅を願った。写真。

同活動は、帯広・広尾自動車道の施工をきっかけに、工事の安全と交通事故撲滅の願いを込めて、十六年度から毎年実施しているもの。昨年十二月にも地蔵尊が雪山に隠れていたこと